

1. 園の教育目標

遊びを中心とした豊かな活動により

「**かんじる心 ちょうせんする心 げんきいっぱいさゆりっこ**」

になって楽しい園生活を送る

- (1) 気持ちよくあいさつをする子どもに (挨拶)
- (2) 考えて行動する子どもに (たくましさ)
- (3) 様々な実体験を通して心豊かな子どもに (情操)

2. 本年度の重点目標

- (1) 体を動かし、心も身体も元気に
- (2) 自然と友だちになって楽しむ
- (3) あいさつ、くつそろえて、みんないい気持ち

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- ・教育目標や園でみんなが力を入れて取り組んでいることが、保護者にも大方は伝わっていると思われる。今後も具体的な活動や取り組みを参観日等の来園時やHP等で発信して行って欲しい。
- ・挨拶については、昨年に引き続き取り上げてもらい、先生たちが意識して明るい挨拶に心がけているように思う。殊に朝夕の挨拶は、子どもたちとともに親同士、子ども同士の挨拶も増えてきている。
- ・モニター会に参加し、様々な園の取り組みや努力を知ることができた。今後も広い視野から園にも協力したい。
- ・栽培収穫活動や草花紹介、草地のある中庭での遊びなど身近な自然との関わりが深まる活動などで、生き物への関心が深まった。今後もそうした活動を大事にして欲しい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・保護者の皆さんがこの期の子どもたちに願うことや活動は、本園の目標や力を入れようとしていることとても近いところにあると思う。今後も遊びを中心にこの幼児期における楽しく夢中になる活動・体験を進めていきたい。職員が子どもの見方、保育力を高め、子どもとの関わりや成長を楽しみながら、しっかり応えていきたい。
- ・今年度位置づけた3つの重点は、来年度もほぼ同様に力を入れて押し進め、さらに充実させていきたい。